

## 2. 4. 備品・会計

### I. 備品

実習で使用する物品、機器の準備と管理を行った。具体的な活動内容を以下に述べる。

授業の準備や授業に必要な物品について、院生室に保管してある在庫を調べ、不足している物品一覧を作成した。不足物品一覧の物の他にさらに必要な物がないか実習生に確認し、挙げられた物を一覧表に加え、助手の先生に注文を依頼した。授業記録用のビデオテープは、全授業を記録するため 1 日 3 コマ× 6 日間× 4 クラス分必要だった。この他、研究レポートのための資料として、A クラスでは 2 台同時に録画する時間があり、この分のテープも必要だった。

コース開始前のインタビュー録音には、院生室と実習生個人の所有する IC レコーダーを使用し、CD にまとめ、実習生全員で共有できるようにした。

授業の録画には、院生室と実習担当の先生、実習生個人が所有するビデオカメラを使用した。院生室の三脚は、事前にビデオカメラがセットできるかを実際に確認しておく必要がある。8 ミリビデオカメラ用の三脚でも、デジタルビデオカメラと使用できるものがある。

実習終了後、大学に実習記録として保存するビデオは、各クラス 6 日間の中から 1 日を選択して、その日の全授業（3 コマ分）をそれぞれ 1 本の VHS にダビングした。

#### < 注意点 >

- ・ 学生による代金立替の制度がないため、個別に購入しないで助手の先生に購入していただくようにする。院生室の在庫を確認し、不足する分については早目に購入を依頼する。
- ・ 院生室の在庫や備品は、使用予定日に確実に使用できるように取り分けておくか、実習で使用する旨を周知する。
- ・ 各クラスで学習者に配布するテキスト、授業プリントは、共用のコピーカードを使用する。
- ・ 授業で使用する部屋に十分なホワイトボード用のペン、マグネットがあるか確認しておく。
- ・ 実習期間中の院生室の棚の鍵の保管方法を助手の先生と相談しておく。
- ・ 各クラスで作成したテキストやプリント、資料等をファイルに閉じて院生室に記録として残す。
- ・ 授業ビデオは、どの部分を大学に記録として残すかを実習担当の鷺見先生に相談する。

## 注文物品一覧

	用途	数量
画用紙（白四つ切）	教材作成	10 枚
マグネットシート	教材作成	10 枚
ガムテープ	教材作成	1 個
2 穴式ファイル	テキスト（学習者配布用 28、保存用 4 クラス×1） 教案・教材保存（4 クラス×1 冊）	36 冊
CD-ROM	インタビュー記録	2 枚
DVC ビデオテープ	授業記録	
マイクロカセットメモリ	授業記録	
半紙	A クラス習字用	1 袋

画用紙、DVC ビデオテープは在庫があったため不足分だけ注文した。

以下の物品は、実習で使用したが在庫があったため購入しなかったものである。来年度は必要に応じて購入する。

## 注文物品以外の使用物品

	用途	数量
クリアファイル	アンケート等保存・渉外資料保存	2 冊
2 穴式ファイル	メール保存	1 冊
見出し用シール	資料整理	1 袋
セロテープ	教材作成	1 個
VHS ビデオテープ	授業記録（個人／大学保存ダビング用）	10 本
墨汁	A クラス習字用	

画用紙はコース開始後に不足したため追加購入したが、急だったため助手の先生を通さずに実習費で購入した。画用紙等は余っても次年度の実習生が使用するため、多めに購入しておくが良い。

## II. 会計

大学で購入してもらう物以外に必要な物品、費用等のため、コースに参加する学習者と実習生から会費を徴収した。

### 1. 収入

項目	金額	備考
前年度繰越金	55	
受講者コース参加費	37500	25名×1500円
実習生会費	12000	8名×1500円
実習生追加徴収	5200	8名×650円
雑収入	18	
<b>合計</b>	<b>54773</b>	

受講者から徴収する参加費については承諾書が必要である。予め文書作成係に作成してもらい、受講生に周知した上で、コース初日にクラスごとに集金した。

### 2. 支出

項目	金額	備考
電話代	520	教育館、常滑遠足準備
交通費	6350	渉外教育館訪問、 インタビュー（2回）、常滑
コピー代	500	
コーヒー代	1180	教育館でのインタビューに不参加だった学習者に対し、後日喫茶店でインタビュー実施
領収証	98	
画用紙	234	最終日の分が不足したため
パーティー		
ピザ	24448	10枚
オーダブル	10000	4皿
飲み物	2968	ペットボトル10本
お菓子・紙コップ ペーパーナプキン・割り箸	2469	
ゲーム賞品（和菓子）	1260	4個
ネイティブチェック謝礼	4722	食事・図書カード
<b>合計</b>	<b>54749</b>	

### 3. 来年度繰越金

収入合計 54773 円－支出合計 54749 円＝24 円

- 最も費用がかかったのはパーティーの食費だったが、ピザもオードブルも大量に余ってしまった。
- 今年度の実習生には英語母語話者がいなかったため、学習者に実施したアンケートや配布書類のネイティブチェックを英語母語話者に依頼した。それが長時間に及んだため、実習後協力者にささやかな謝礼をした。
- 交通費は、上記の他にも常滑遠足の下見、遠足当日にもかかったが、全員が参加したため個人の実費として実習会計には算入していない。
- 電話代は、携帯電話の場合は1回30円、回線電話の場合は1回10円として換算した。

<長谷川>